

海外派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 9/1~9/30)

1. 勉学の状況

始めに、私がレジャイナ大学に留学した理由として、英語の能力を高めたいということと、心理学的な側面から社会で起こっている出来事を観察し、根本的な解決方法を考えられるようになりたいということがあります。元々、難民問題に興味があり、派遣留学の面接時点ではシラバスに移民・難民関係の授業があったため、その授業を履修するのを楽しみにしていたのですが、今年はその授業が行われないという事で上記のような目的で心理学をメインに履修することにしました。心理学の200番台(導入の次)レベルの授業を冬学期に履修するために、今学期は心理学の導入的な授業を二つと、国際関係学を履修しています。心理学の授業では暗記が中心で、現在は心理学の歴史、研究作法や、脳・神経の構造、発達心理学などの分野を学んでいます。教科書が辞書のように分厚く、予習で読み進めるのにとっても時間がかかります。出てくる単語も専門的なものが多いので暗記が大変ですが、内容は興味深いです。国際関係学は、現在の国際社会を様々な学問分野の領域を組み合わせる俯瞰するというような内容です。現在問題となっている大きなトピックを違う観点から見えていくのが面白いです。実際に自分の政治的立場を測ったり、自分のような生活様式だとどれほどの環境破壊を行っているのか計算したりなど、自分の視点も忘れずに授業を行ってくださる教授の姿勢が好きです。心理学の授業に関しては、もうすぐ第一回目の中間試験があるので、暗記を中心に頑張ります。

2. 生活の状況

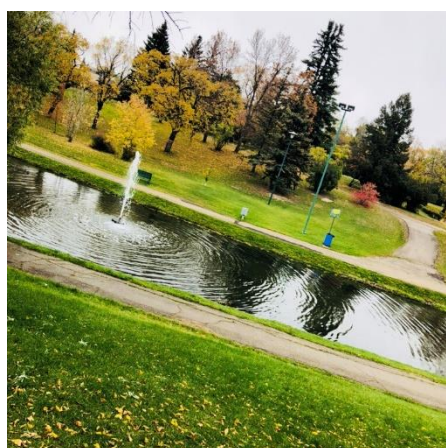
私は今学期が始まる前にホームステイをして3週間のESL(English as a Second Language Program)に参加していたため、寮への移動はとてもスムーズでした。私は6人部屋に住んでおり、キッチン、バスルームは共用です。中国出身のルームメイトが3人、カナダ出身のルームメイトが2人という構成です。私を含め、アジア人の割合が高くとても驚いています。ルームシェアはトラブルが多いと聞いて心配していましたが、みんなとてもいい人で、問題なく生活しています。ルームメイトの一人は料理が大好きで、たまにお菓子を作ってみんなに配ってくれます。また、自分の国の料理を作って、ちょっとずつ味見したりと、楽しく暮らしています。もしレジャイナ大学に留学する人がいたら、College West という寮をおすすめします。私もこの寮に住んでいるのですが、新しくリニューアルされたばかりで新築のように感じます。さらに、大学内にあるので冬も外に出る必要がなく、エレベーターを降りたらもう廊下、そのまま教室まで5分で行けるという感じです。慣れるまで変な感覚でした。前から留学していた千葉大学の先輩、ホストファミリー、ルームメイトなど周囲の人に恵まれて、新しい友達もできました。また、予想以上に日本人がいて驚いています。私は千葉大学でアルティメットというスポーツをしていたのですが、レジャイナ大学でもアルティメットチームに所属して

います。来月に行われる Nationals というカナダ全土の大学チームが参加する大会に向けて、週に3回練習を行っています。コーチ、チームメイトがとても親切で、英語が自由に使えない私もチームに入れてくれて、戦術を説明してくれたり、サポートしてくれてとても有り難いです。ただ、プレー中に言いたいことが上手く伝えられないのがとてもむずかしいです。また、今月は自分の誕生日があり、いろんな人におめでとうと言ってもらえてとても嬉しかったです。特別な20歳の誕生日になりました。今月の最後にはもう初雪が降りました。まだ9月ですが日本の真冬並みに寒いです。早く冬用のコートを買に行こうと思います。

日本料理屋さん連れて行ってもらいました。そこそこおいしかったです。



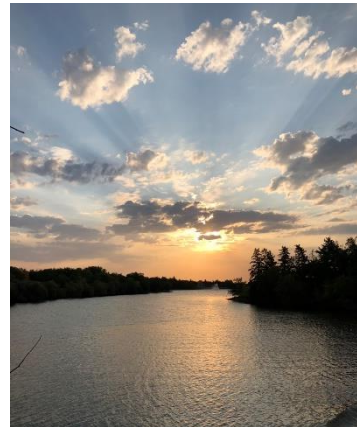
Moose Jaw という Saskatchewan で四番目の街に行きました。



ルームメイトと親子丼を作りました。



大学から近い所に湖があります。
レジャイナの空はとても大きくて、澄んでいます。



休日はランチを外に食べに行く人が多く、朝からお店が混雑しています。



RAMS というレジャイナ大学のフットボールチームのホームゲームを見に行きました。

